

ミニオペレッタ堂々

ハ学短大生 子どもたちも楽しむ



学生と子どもたちが一緒に楽しんだ
ミニオペレッタ発表会

八戸学院大短期大学部幼児保育学科2年生によるミニオペレッタ発表会がこのほど、「SG GROUP」を、多くの子どもたちが楽しめるホールはちのへ（市公会堂）で開かれた。台本、発表会は卒業公演として

毎年開催している。今回はオペレッタ「スサノオの冒険」「ピーターパン」のほか、客席の子どもたちと一緒に手遊びや体操をする「鬼のパンツ」「アブラハムの子」「グーチョキパーでパンプキン」「エビカニクス」を上演。子どもたちは歌ったり踊ったり、悪者を退治するシーンでは声援を送ったりしながら、ステージを一緒に楽しんでいた。

オペレッタで主役のスサノオを演じた下村叶恵さんは、「2年間の集大成として最高の舞台になるよう、仲間たちと一生懸命準備した。最初は不安と緊張でいっぱいだったが、子どもたちの元気な声がうれしかった」と話していた。